

2016年度の主な成果

業績

売上収益	9,551 億円	営業利益	889 億円
研究開発費	2,143 億円	研究開発費率	22.4%

CSR

DJSI* ¹ Asia Pacific	7 年連続選定	女性社員比率	33.7%
CO ₂ 排出量	▲4.0% (対2015年度比)	医療アクセスの拡大	GHIT Fund* ² : 3 プロジェクト

*1 S&P Dow Jones Indices社とRobecoSAM社が、企業の持続的可能性を評価している指標
*2 公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金：開発途上国の感染症の制圧に向けた日本発の官民連携パートナーシップ

サイエンス・テクノロジー

<がん事業の立上げ・確立>

	前臨床段階		初期臨床段階		後期臨床段階
抗体薬物複合体 (ADC) フランチャイズ	DS-7300 (B7-H3 ADC)	DS-1062 (TROP2 ADC)	U3-1402 (HER3 ADC)	DS-8201 (HER2 ADC)	
	その他の ADCs				
急性骨髄性白血病 (AML) フランチャイズ			DS-1001 (IDH1)	DS-3032 (MDM2)	Quizartinib (FLT3)
			DS-3201 (EZH1/2)	PLX-51107 (BRD4)	

<SOC*を変革する先進的医薬品の創出>

共同研究開発およびオープンイノベーションの推進

虚血性心不全細胞治療 ハートセル：DS-8100	がん治療ウイルス G47 Δ：DS-1647	肺がん治療薬 Dana-Farber がん研究所	バイスベシフィック抗体 Zymeworks 社	疼痛治療 Heptares 社
核酸医薬 デュシェンヌ型 筋ジストロフィー治療薬： DS-5141	がん細胞治療 がん・CAR-T 療法： KTE-C19	がん免疫薬 AgonOx 社	バイオマーカー アステラス/武田、 シスメックス/ アステラス	毛細血管幹細胞 旭川医科大学

* Standard of Careの略。現在の医学では最善とされ、広く用いられている治療法

グローバル組織・人材

従業員数	14,670人 日本 8,648人 北米 2,464人 欧州 1,578人 その他 1,980人	グループ会社数	59 社 (22カ国)
------	--	---------	-------------

- ・ Cancer Enterpriseの新設とそのリーダーの採用
- ・ グローバルオンコロジーマーケティングの新設とそのリーダーの採用
- ・ バイオロジクスユニットの新設

日本でのプレゼンス

医療用医薬品の売上収益	第 1 位* ¹	MR総合評価 (国内)	5年連続第 1 位* ²
-------------	---------------------	-------------	-------------------------

- ・ 最主力製品リクシアナの急速拡大
 - ▶ 新規患者におけるDOAC*³市場内の処方シェアNo.1
- ・ 主力製品における対象セグメント内シェアNo.1
 - ▶ ネキシウム ▶ メマリー ▶ プラリア ▶ ランマーク
- ・ 良質な導入品の獲得
 - ▶ ビムパット ▶ バイオシミラー 9品目 ▶ カナリア ▶ オーソライズド・ジェネリック (AG)*⁴

*1 2016年度決算開示ベース
*2 株式会社アンテリオによる調査
*3 直接経口抗凝固剤
*4 先発メーカーから許諾を得て製造した原薬、添加物および製法等が先発医薬品と同一のジェネリック医薬品や、特許使用の許可を得て、優先的に先行して販売できるジェネリック医薬品